DAINICHI

ハイブリッド式加湿器（家庭用）
[温風気化/気化式]

取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

エイチ ディー　ディー
HD-500D
HD-700D
HD-900D

ご使用前

使用方法

点検・その他

製品アンケートへのご協力をお願いします

PC http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
携帯 http://www.dainichi-net.co.jp/mhd/

※ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のメールアドレスなどの入力が必要です。
通信料などはお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

区分	内容
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

マーク	意味
	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

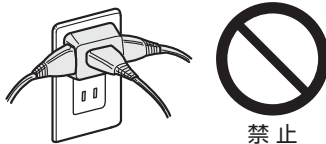
⚠警告(WARNING)

分解修理・改造の禁止

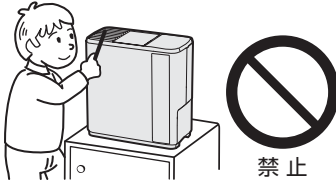
故障・破損したら、使用しないでください。
また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。
感電や故障の原因になります。

分解禁止

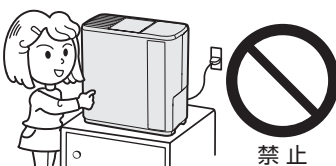
交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

禁 止

本体に異物を入れない

吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。
感電やけがの原因になります。

禁 止

幼児の手の届くところでは使わない

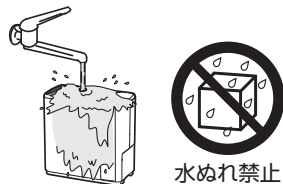
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
やけど・けが・感電の原因になります。

禁 止

運転停止直後(約1分間)はヒータ周辺に触れない

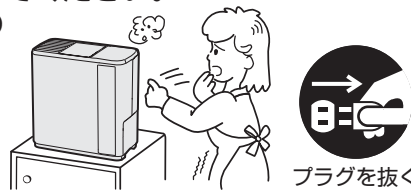
やけど・けが・感電の原因になります。

接触禁止

水に浸けたり、水などをかけたりしない

本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。
水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

水ぬれ禁止

異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く

水漏れ、焦げくさい臭いなど異常や故障と思われるときは、使用しないでください。
火災・感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

お手入れするときは、電源プラグを抜く

お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。

プラグを抜く

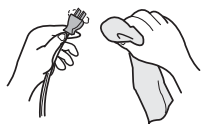
お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない

有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

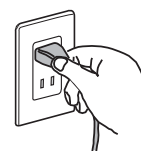
禁 止

⚠ 警告(WARNING)

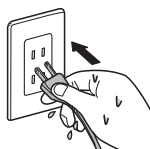
電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

必ず行う

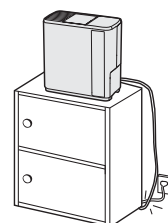
電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

必ず行う

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

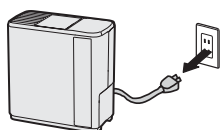
感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止

電源コードを傷めない

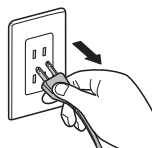
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。
また、束ねたまま使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

禁 止

⚠ 注意(CAUTION)

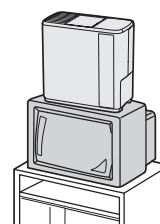
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

暖房機、テレビなどの電化製品の上に置かない

転倒すると水がこぼれ、火災や感電の原因になります。

禁 止

水道水(飲用)以外は使用しない

40℃以上のお湯や化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用すると雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。

禁 止

タンクの水や本体内部は常に清潔にする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。
お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。

必ず行う

加湿された風が家具、壁、カーテンなどに直接あたるところには置かない

しみが付いたり、変形するおそれがあります。

禁 止

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

水がこぼれ、火災や感電の原因になります。

禁 止

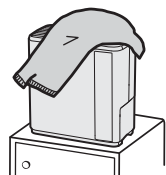
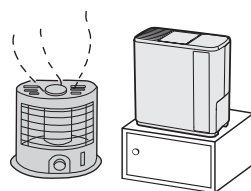
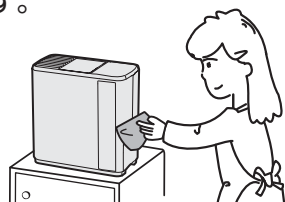
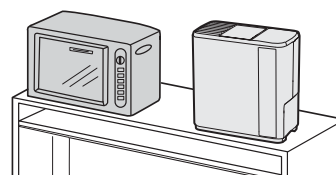
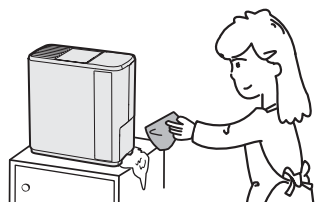
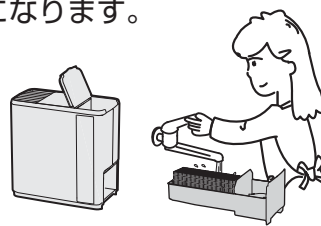
吸気グリル・防カビフィルターを外したまま使用しない

性能が発揮されず、故障の原因になります。

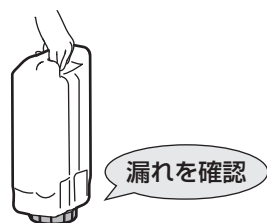
禁 止

安全のために必ずお守りください

お願い(NOTICE)

吹出口や吸気グリルをふさがない
吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。

直射日光のあたるところや暖房機の上や近くに置かない
タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形や変質するおそれがあります。

こまめにお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。

磁気の多いところには置かない
電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かないでください。
正常に作動しないときがあります。

本体下部や棚などを時々清掃する
水がこぼれたまま放置すると、棚などを傷めるおそれがあります。

本体内部には直接水を入れない
トレイに直接水を入れないでください。
故障の原因になります。

使用しないときは水を捨てる
長期間使用しないときは、タンク・トレイ内の水を捨ててください。
水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない
移動するときは、必ずタンクを取り出し、取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

水漏れ確認
タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。
水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

湿度の高いところ(85%以上)では使用しない
故障の原因になります。

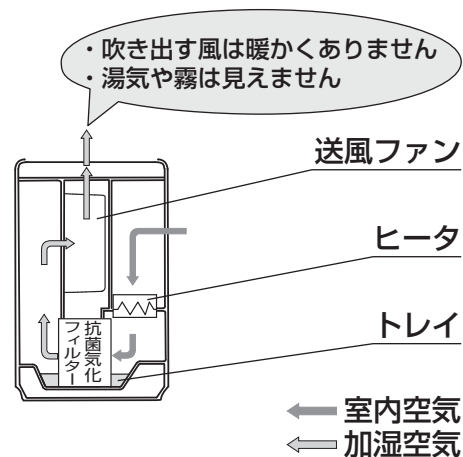
トレイ内の水を飲まない・飲ませない
体調不良の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない
故障の原因になります。

特　長

1 ハイブリッド式(温風気化/気化式)

○ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。

○「温風気化式」でも、ヒータで暖められた風は、抗菌気化フィルターで水が気化するときに熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は暖かくありません。また、スチームファン式や超音波式のような湯気や霧は見えません。

2 静音設計

運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 抗菌気化フィルターは5シーズン使用可能

抗菌気化フィルターは、月に1回クエン酸洗浄を行うと5シーズン(クエン酸洗浄なしでは1シーズン)使用できます。14ページ 16ページ

4 お好みに合わせて選べる運転モード

①標　　　準：お好みの湿度に加湿します。
②静　　　音：運転音を抑えて加湿します。
③エコ(eco)：消費電力を抑えて加湿します。

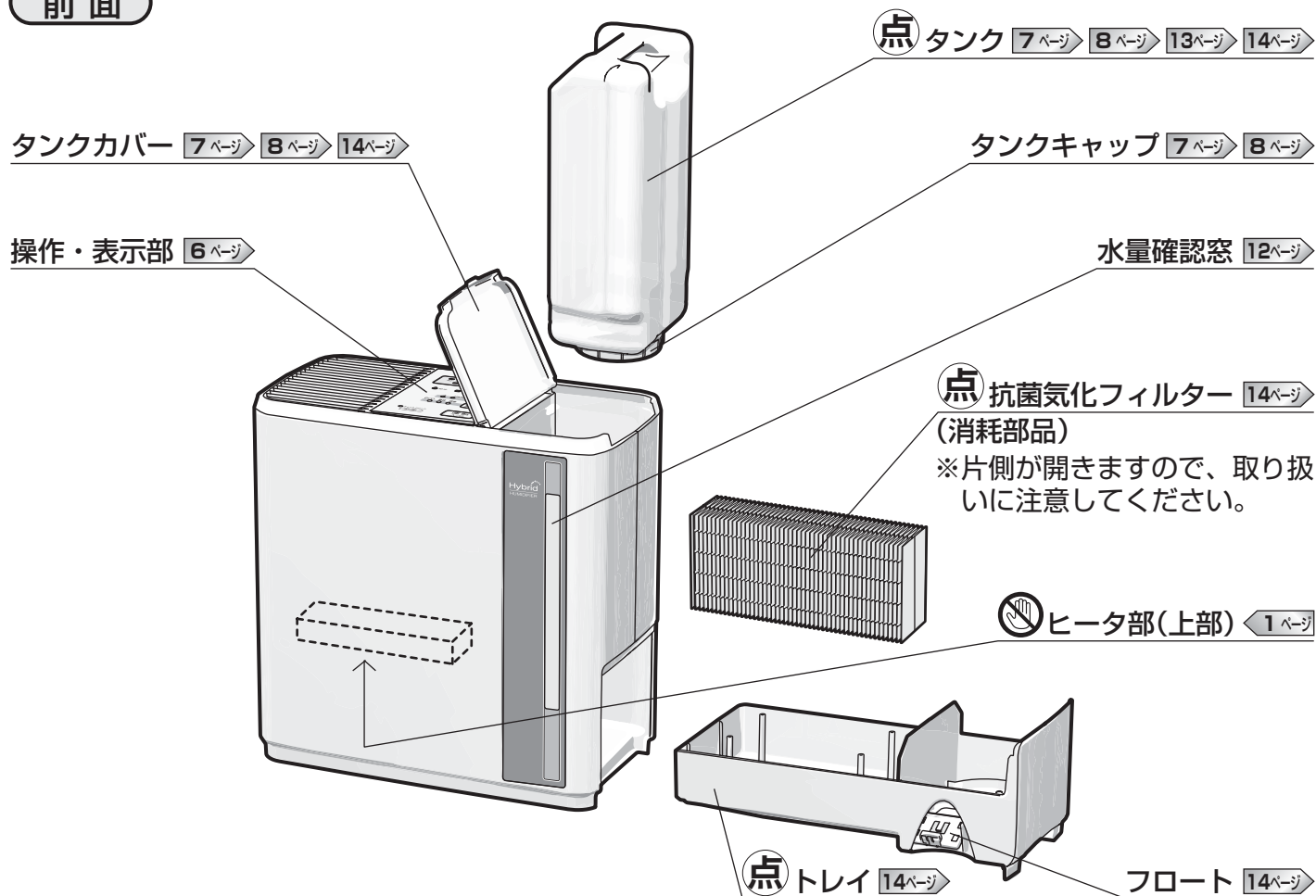
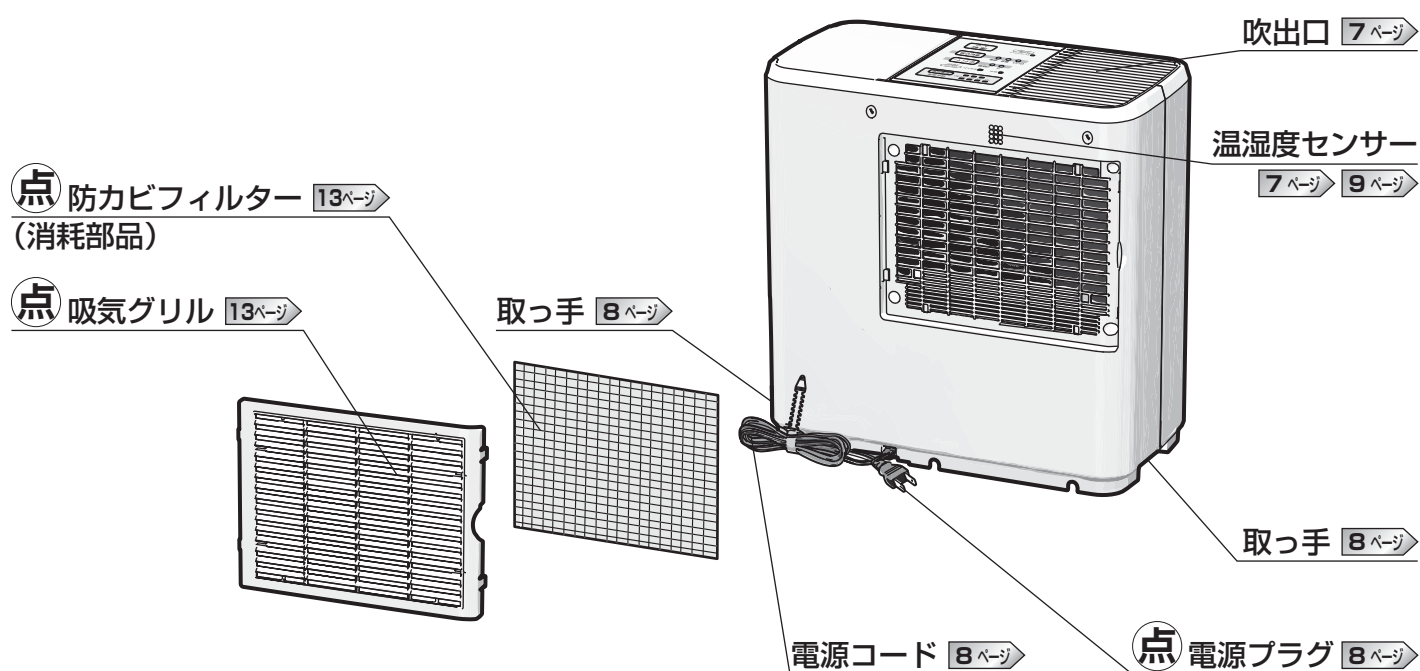
5 温湿度センサーによる自動運転

部屋の湿度を素早く感知し、湿度に合わせて自動的に加湿量を調節します。

6 抗菌機能搭載

①抗菌気化フィルター：抗菌※1・防カビ※2加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
②防カビフィルター：防カビ※3 加工を施し、部屋の空気から捕らえたカビの繁殖や活動を抑えます。

	※1	※2	※3
試験機関	一般財団法人　ボーケン品質評価機構		
試験方法	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠	JIS Z2911に準拠
抗菌・防カビの方法	フィルターに抗菌剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	抗菌気化フィルター		防カビフィルター
試験結果(試験番号)	99.9%の抑制を確認 (09006184-1) (09006184-2)	抑制を確認 (09006184-3)	抑制を確認(002720)

外観図

運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

※外観図は機種により若干異なります。
(イラストはHD-500Dで説明しています)

操作・表示部

湿度設定ボタン 11ページ
○湿度を設定する
湿度設定ランプ(赤) 11ページ
○設定した湿度が点灯

現在湿度表示(緑) 9ページ
○現在の部屋の湿度を10%刻みで表示

お手入れリセットボタン 12ページ
○お手入れサインの解除を行う
お手入れサイン(赤) 12ページ
○お手入れ時期に点滅

給水サイン(赤) 9ページ
○タンクの水がなくなると
点滅

チャイルドロックボタン 10ページ
○チャイルドロックを設定する
チャイルドロックランプ(緑) 10ページ
○セットしたとき点灯

切タイマーボタン 12ページ
○切タイマー時間を設定する
切タイマーランプ(緑) 12ページ
○運転残り時間が点灯

運転切換ボタン 11ページ
○運転モードの切り換えを行う
運転モードランプ(緑) 11ページ
○設定した運転モードが点灯

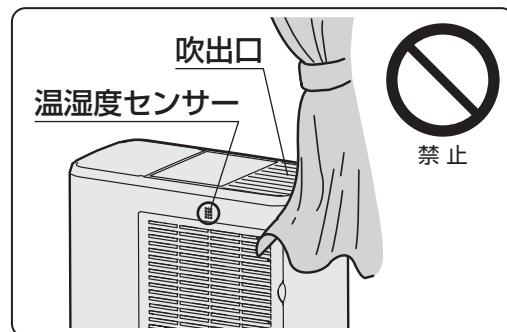
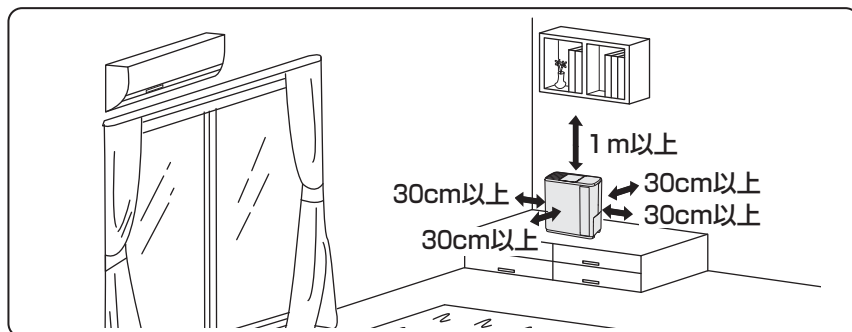
運転 入/切スイッチ 9ページ 10ページ
○運転の入・切を行う
○給水サインの解除を行う

使用する場所・使用前の準備

効果的に加湿するために

設置場所

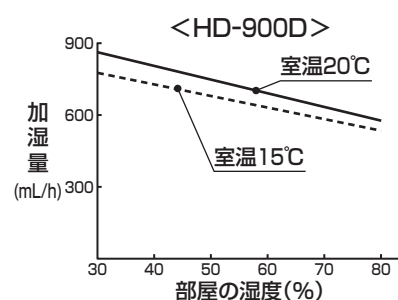
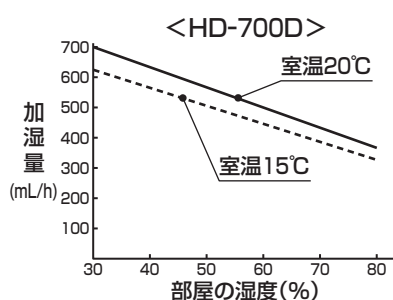
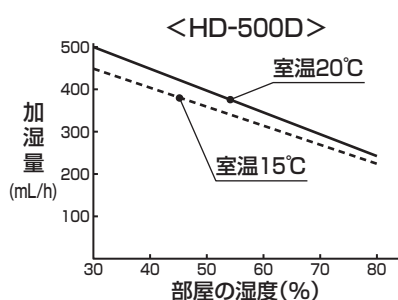
○直射日光やエアコン・暖房機の温風があたらないところに設置してください。また、冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。
○設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。部屋の空気の循環をよくして使用してください。
○水平で丈夫な場所に設置してください。
○カーテンや壁、家具などから図に示す距離をとってください。

○カーテンなどが吹出口や背面の温湿度センサーをふさがないように設置してください。

使用条件(室温と湿度)

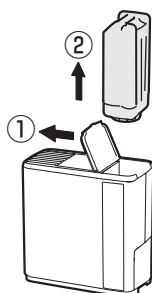
○室内温度は0～40℃、湿度は20～85%で使用してください。
○室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。

加湿量について

次のときには加湿量が少なくなります。
○雨の日など、湿度が高いとき
○室内の温度が低いとき

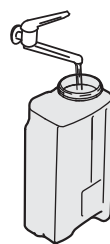
部屋の湿度と加湿量(標準運転モードのとき)

運転開始前の準備

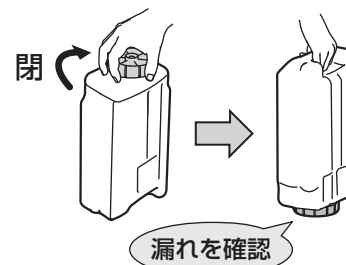
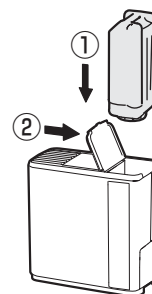
タンクに給水する

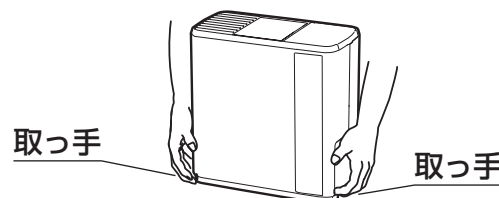
1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 タンクキャップを外す

○外したタンクキャップにごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。

3 タンクを振り洗いしてから、水道水(飲用)を口元まで ゆっくり給水する

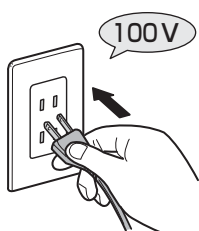
○水道水(飲用)は、一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいため、必ず水道水(飲用)を使用してください。

4 タンクキャップを確実に閉める

○タンクについた水は完全にふき取ってください。
○タンクキャップを下にして水漏れがないことを確認してください。
※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

5 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

移動するとき

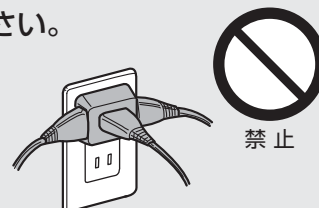
○必ずタンクを取り出し、両手で取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

お守りください

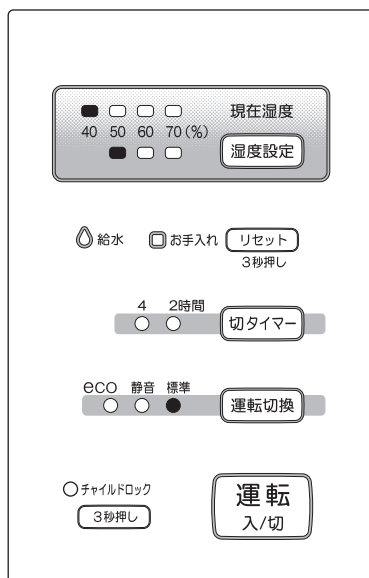
○40℃以上のお湯や化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、汚れた水などは使用しないでください。
変形や故障の原因になります。
○ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などは入れないでください。
雑菌やカビが繁殖しやすくなり故障の原因になります。

電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に差し込む。

お守りください

○家庭用電源(100V)以外では使用しないでください。
動作異常や予想しない事故の原因になります。
○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

禁止

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す

○現在湿度表示(緑)、湿度設定ランプ(赤)、および運転モードランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

※設定した湿度になるよう自動で加湿量を調整し、運転します。
ただし、十分な加湿が得られているときは運転を停止する場合があります。

※室内温度が高いときや低いときは、現在湿度が設定湿度よりも低いときでも、加湿量を抑えて運転する場合があります。

現在湿度表示について

湿度表示は目安としてお使いください。

○本体内部の温湿度センサーで検知した湿度を表示します(表示湿度は、40～70%)。
○湿度が40%以下のときは、現在湿度は「40%」を表示します。
○運転を開始してから安定するまで約5分かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。
○現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、一致しないことがあります。
(湿度計には大きく分け「バイメタル式(針表示式)」と「電気式(デジタル式･･･本加湿器採用)」の２つの方式があります。方式により検知速度が違うため、同じ場所に置いても湿度表示に差が出る場合があります。詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。裏表紙)

給水の合図

加湿運転中にタンクの水がなくなると給水サイン(赤)が点滅し、お知らせします。

○約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

※給水サイン(赤)が点滅したときにタンクの中に少量の水が残っていることがありますが、異常ではありません。

解除のしかた

1. 運転 入/切スイッチを押す

○給水サイン(赤)が消灯します。

2. タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、運転 入/切スイッチを押す

○運転を開始します。

メモ

○タンクを入れてからトレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに１～２分かかります。
○初めてお使いになるときは、ヒータ(電熱線)の発熱により、吹出口から防錆油の焼ける臭いがすることがありますが、人体には影響ありません。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す

○すべてのランプが消灯します。
○約20秒間送風後、停止します。
使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

○本体が転倒したときは、運転を停止して現在湿度表示(緑)が点滅します。このとき送風ファンは回りません。16ページ

お守りください

○運転停止後約20秒間は、本体内を冷やすため送風ファンが回っているときがありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
電源プラグを抜いて運転を停止したり、停止後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロックボタンを約３秒間押す

○チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。
(チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります)

メモ

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

チャイルドロックを解除する

チャイルドロックボタンを約３秒間押す

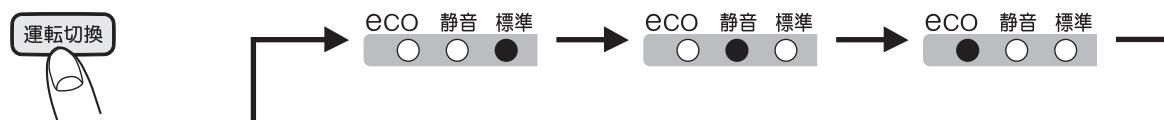
○チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください。

標　　準：設定した湿度になるよう自動で加湿量を調整し、運転します。
静　　音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。
エコ(eco)：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。
（「静音」と「エコ(eco)」モードは、最大加湿量が少なくなり、部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなることがあります。）

運転切換ボタンを押す

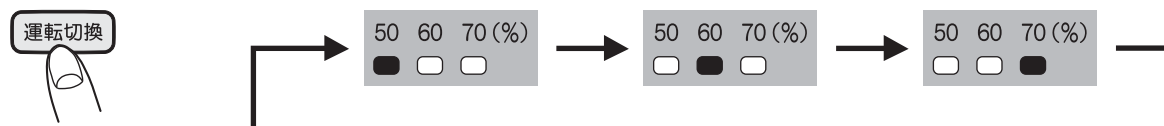
運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります。

○選んだ運転モードランプ(緑)が点灯します。

メモ

○初めてお使いになるときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、「標準」モードになります。運転モードを変えたいときは、再度、設定してください。

湿度設定をするとき

湿度設定ボタンを押す

湿度設定ボタンを押すごとに設定湿度が切り換わります。

○選んだ湿度設定ランプ(赤)が点灯します。

メモ

○初めてお使いになるときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、湿度設定が「50%」になります。湿度設定を変えたいときは、再度、設定してください。
○湿度設定を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「50%」、乾燥が気になるときは「60%」、または「70%」に設定してください。

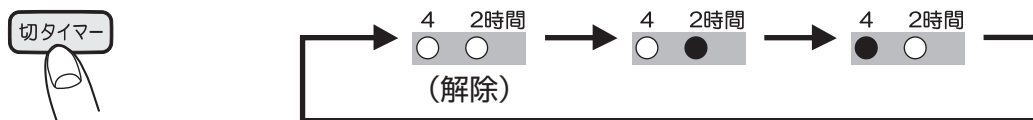
切タイマー運転を使用するとき

切タイマー運転をセットする

一定時間で運転を終わらせたいとき

２時間後、4時間後の設定ができます。

1 切タイマーボタンを押す

切タイマーボタンを押すごとに設定時間が切り換わります。

○選んだ設定時間の切タイマーランプ(緑)が点灯します。
○時間の経過とともに切タイマーランプ(緑)が切り換わり、運転残り時間を表示します。

運転残り時間の表示について

○残り時間が４～2時間です。

○残り時間が2～０時間です。

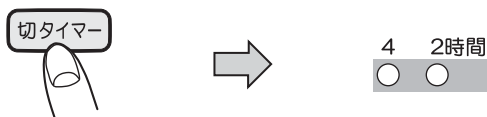
2 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します

○すべてのランプが消灯します。
○約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

○設定後に切タイマー時間を変えたいときは、もう一度 **1** を行なってください。新たに合わせたときから切タイマーが作動します。
○切タイマー運転を設定するときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水サイン(赤)が点滅して運転を停止します。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを切タイマーランプ(緑)が消灯(解除)するまで押す

○切タイマーランプ(緑)が消灯します。

メモ

○切タイマー運転で停止したときは、切タイマーボタンを押しても運転は再開しません。再度、運転 入/切スイッチを押してください。

お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします

運転時間にかかわらず、電源プラグをコンセントに差し込んでから２週間後に、お手入れサイン(赤)が点滅します。運転を停止させ、お手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルター・トレイのお手入れをする

お手入れのしかたは、14ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

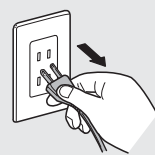
2 お手入れリセットボタンを約３秒間押し、お手入れサイン(赤)を解除する

お手入れ リセット 3秒押し

○お手入れサイン(赤)が消灯し、リセットされます。

お手入れのしかた

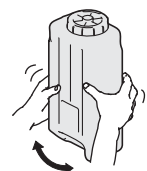
お守りください

○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。
○お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

ご使用のたびに

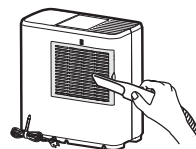
本体のごみやほこりをふき取る

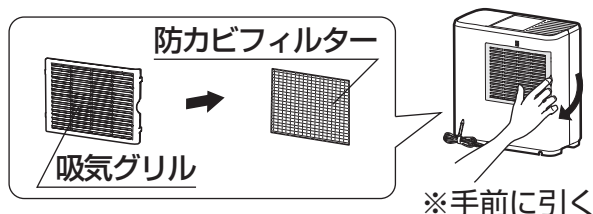
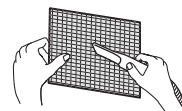
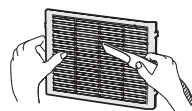
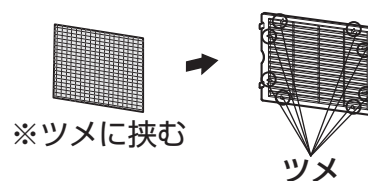
○柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
○変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

タンク内をきれいにする

○タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。

週に１回程度

吸気グリルのお手入れをする

掃除機などで吸気グリルのほこりを取る。

吸気グリルの汚れがひどいとき

1. 吸気グリルを取り外し、防カビフィルターを取り外す。

2. 吸気グリル、防カビフィルターは掃除機などでほこりを取る。

3. 吸気グリルに防カビフィルターを取り付ける。
※防カビフィルターは吸気グリル裏側のツメ（8箇所）に挟むように取り付ける。

4. 吸気グリルを本体に取り付ける。

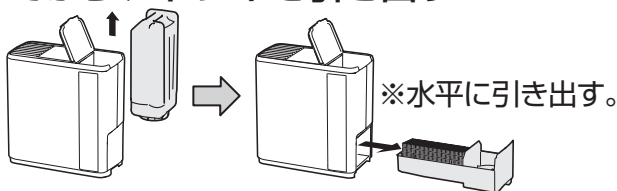
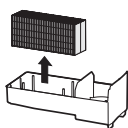
お守りください

○吸気グリルの汚れがひどくなると雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、こまめにお手入れしてください。

お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター・トレイのお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイに水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので必ずお手入れしてください。

1 タンクカバーを開けタンクを取り出してから、トレイを引き出す

2 トレイから抗菌気化フィルターを取り出し、お手入れする

お手入れのたびに

○ 水洗い後、柔らかい布で汚れをふく。
○ 吹き出す風が臭ったときは当社指定の洗剤で洗浄する。

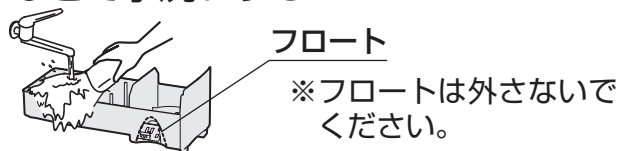
お手入れの２回に1回（１カ月に１回程度）は

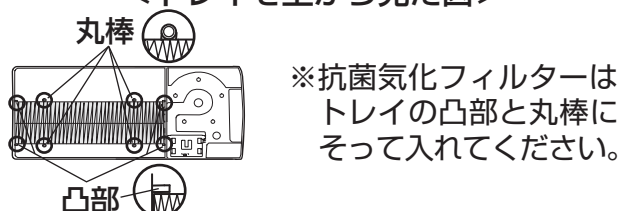
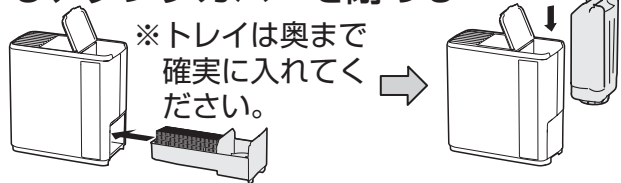
○ クエン酸で洗浄する。

※洗浄のしかたは、下記「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。

※抗菌気化フィルターに強い力を加えないでください。
抗菌気化フィルターが破損するおそれがあります。

3 トレイの水を捨て、トレイをスポンジなどで水洗いする

※フロートは外さないでください。

4 抗菌気化フィルターをトレイにセットする ＜トレイを上から見た図＞

※抗菌気化フィルターはトレイの凸部と丸棒にそって入れてください。

5 トレイを入れてからタンクをセットし、タンクカバーを閉める

6 お手入れサイン（赤）を解除する 12ページ

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. ぬるま湯にクエン酸、または指定の洗剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。
（クエン酸と指定の洗剤を一緒に入れないでください）
40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。

用　途	洗 浄 剤	使 用 量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	4.0Lあたり約25g（大さじ2杯半）※1	約30分～２時間 ※２
吹き出す風が臭ったとき	当社指定の洗剤（粉末）※3「花王：ワイドマジックリン」	4.0Lあたり約36g（大さじ４杯）	約60分

※１ 濃度が高いと部品破損の原因になります。
※２ 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く（最長２時間）してください。
※３「ワイドマジックリン」は、花王株式会社の登録商標です。

2. 新しい水でしっかりすすぎ洗いする。

※クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

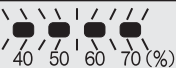
※詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。裏表紙

メモ

○ 抗菌気化フィルターはクエン酸洗浄しないで使用を続けると寿命が１シーズンと短くなります。
（１シーズン６カ月、１日８時間運転、水道水の硬度50mg/L（全国平均値）の場合）16ページ
○ クエン酸は薬局、薬店、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。18ページ
○ クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症　状	原　因	処 置 方 法
給水サイン(赤)が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水する。 7ページ 9ページ
タンクに水が入っているのに**給水サイン(赤)**が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。 7ページ
	トレイが確実に本体に入っていない。	トレイを確実に本体に入れる。 14ページ
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除く。 14ページ
	運転 入/切スイッチを押し直していない。	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 9ページ
湯気や霧が見えない	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、湯気や霧は見えません。	異常ではありません。 4ページ
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 10ページ
	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 7ページ 9ページ
運転中なのに風が出ない(加湿しない)	部屋の湿度が設定した湿度以上になっているため、加湿を止めています。	異常ではありません。 9ページ
風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをする。 13ページ
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 14ページ
風が冷たい	水が気化するときに熱が奪われるので、室温より低い温度の風が出ます。	異常ではありません。 4ページ
現在湿度が設定湿度より高い、または現在湿度表示が70%以下にならない	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなることがあります。	設置場所を確認する。 7ページ
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止する。 10ページ
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所を確認する。 7ページ
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。 9ページ
運転切換ができない	**給水サイン(赤)**が点滅している。	タンクに給水する。 7ページ 9ページ
切タイマー運転ができない		
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。 17ページ
	「エコ(eco)」、「静音」モードになっている。	「標準」モードでお使いください。 11ページ
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
音がする	「ボコボコ」という音はタンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル・抗菌気化フィルターのお手入れをしてお使いください。 13ページ 14ページ
臭いが出る	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイが汚れている。	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイのお手入れをする。 13ページ 14ページ

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原　因	処 置 方 法
40 50 60 70(%) <ランプ点滅>	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 **(転倒自動停止装置が作動)**	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 7ページ
4 2時間 または eco 静音 標準 <ランプ点滅>	室温異常(0℃以下、または40℃以上)になったため自動停止した。 **(室温異常自動停止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 7ページ
給水 と チャイルドロック <ランプ点滅>	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 18ページ

処置を行なっても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

○抗菌気化フィルターは、5シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(１シーズン６カ月、１日８時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に１回クエン酸洗浄した場合)。クエン酸洗浄なしでは１シーズンです。18ページ
なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。
また、5シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

○防カビフィルターは、汚れが落ちにくくなったら交換をおすすめします。
交換せずに使用を続けると、カビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。13ページ

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

1 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。終了後再度、電源プラグをコンセントに差し込み、**お手入れリセットボタン**を約３秒間押し、リセットしてください。12ページ

2 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。
また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

消耗部品の材質
○抗菌気化フィルター‥‥‥レーヨン・プラスチック(ポリエステル)
○防カビフィルター‥‥‥‥プラスチック(PP)

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検	長年ご使用の加湿器の点検を！			
	こんな症状はありませんか	・水漏れする。 ・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。 ・運転中に異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。	ご使用中止	事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型名		HD-500D			HD-700D		
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz					
加湿運転		標　準	静　音	エコ(eco)	標　準	静　音	エコ(eco)
消費電力(最大)		163/163 W	161/161 W	11/12 W	285/285 W	280/280 W	14/18 W
加湿量(最大)※1		500 mL/h	375 mL/h	365 mL/h	700 mL/h	600 mL/h	460 mL/h
連続加湿時間※1		約8.0 時間	約10.7 時間	約11.0 時間	約6.7 時間	約7.8 時間	約10.2 時間
運転音	最大	30 dB	20 dB	30 dB	32 dB	27 dB	32 dB
	最小※2	15 dB	15 dB	15 dB	15 dB	15 dB	15 dB
タンク容量		4.0 L			4.7 L		
適用床面積	木造和室	14 m² (8.5 畳)まで			20 m² (12 畳)まで		
	プレハブ洋室	23 m² (14 畳)まで			32 m² (19 畳)まで		
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行)		375 mm×375 mm×190 mm			375 mm×375 mm×210 mm		
質量		約4.5 kg			約5.1 kg		
電源コードの長さ		2.0 m					
安全装置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置					

型名		HD-900D		
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz		
加湿運転		標　準	静　音	エコ(eco)
消費電力(最大)		470/470 W	283/283 W	14/18 W
加湿量(最大)※1		860 mL/h	600 mL/h	460 mL/h
連続加湿時間※1		約5.5 時間	約7.8 時間	約10.2 時間
運転音	最大	32 dB	27 dB	32 dB
	最小	15 dB	15 dB	15 dB
タンク容量		4.7 L		
適用床面積	木造和室	24 m² (14.5 畳)まで		
	プレハブ洋室	40 m² (24 畳)まで		
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行)		375 mm×375 mm×210 mm		
質量		約5.1 kg		
電源コードの長さ		2.0 m		
安全装置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置		

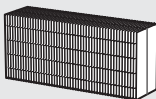
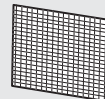
※1 加湿量は室温20℃・湿度30%の条件のときです。
※2 湿度設定を50%にしたときです。

部品のご注文について

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。裏表紙

別売部品（この部品は本加湿器用です。他の機器では使用しないでください。また、価格や仕様は予告なく変更することがあります。その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。）

＜消耗部品＞

【クエン酸】
300円(税抜)
商品コード：H010010

【抗菌気化フィルター】
1,700円(税抜)
商品コード：H060518

【防カビフィルター】
450円(税抜)
商品コード：H060379

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆**保証書(裏表紙に付いています)** 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆**保証期間**

保証期間は、お買い上げ日から本体３年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター・防カビフィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。
他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。15ページ 16ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチ加湿器
型　　　名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

◆**保証期間中**

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

◆**保証期間が過ぎているとき**

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆**修理料金**

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○修理などで加湿器を運搬するときは、必ずタンク・トレイ内の水を捨ててください。
運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

保証とアフターサービス

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入など）

お客様ご相談窓口（通話料無料）
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
＜受付時間＞
11月～ 1月　9:00～19:00
（土は～17:00、日・祝日・年末年始は休み）
2月～10月　9:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日は休み）
※型名（本体背面に表示）をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞
インターネット　ダイニチ工業　検索
「お客様サポート」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①修理やその確認業務を委託する場合
　②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

加湿器保証書

型名	ご購入機種に○を付けてください			製造番号	
	HD-500D	HD-700D	HD-900D		
お客様	お名前　　　　様 ご住所　〒 電話番号　（　　）　－				
お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号				
年　月　日					
保証期間（お買い上げ日から）					
本体３年間					

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い
お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

ご販売店様へ
お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効になります）、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉
1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
（ロ）お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク・タンクキャップの損傷。使用状況などによる本体やタンクの変形・変色。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障や損傷
（ニ）異常電圧、指定外の電源（電圧・周波数）、ほこりなどによる故障や損傷
（ホ）消耗部品（抗菌気化フィルター・防カビフィルター）の取り替え
（ヘ）定期点検や内部清掃の費用
（ト）一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
（チ）本書の提示がないとき
（リ）本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（18ページ）をご覧ください。

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL　0120-468-110
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

HD-500D・15・05・0,000・1